

六花の輝き

＜教育目標＞
喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25
TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188
E-mail takashi@jorne.or.jp

ありがとうございました

校長 遠藤和英

今年も12月24日で無事に2学期を終えることができます。2学期前半まで心配していた感染症による臨時休業等もなく、また、交通事故等の大きなけがもなく全日程を終えることができそうです。保護者の皆様、地域の皆様には、当校の教育活動をご理解・ご協力をいただき感謝いたします。

行事等から子どもたちの様子を振り返ってみます。2学期前半は、やはり感染症の影響を受けました。まずは、昨年に引き続き2学期に行った運動会。感染症を心配し、なかなか全校で集まって練習することができませんでした。私の今までの経験の中でも、最も練習の少なかった運動会でした。しかし、6年生のリーダーシップの下、iPadなどのICT機器も活用し、練習の少なさを感じさせない運動会ができました。また、心配していた6年生の修学旅行ですが、日程を延期して実施することができました。昨年に引き続き1泊の県内旅行でしたが、目的である戦争についての学習や地元の先進技術を有する企業見学など、地元新潟県を再確認する旅となりました。いずれの行事も、目的をしっかりと達成することができました。ただ、昨年同様、市の陸上大会は中止となり、子どもたちの力を発揮する場が一つ失われたのは残念でした。

11月以降は、感染症も落ち着きを見せ、校内では見学なども含めて、ほぼ予定どおり学習を進めることができました。子どもたちも委員会で読書旬間、豆つかみ大会や校内リレー等の行事を企画・運営し、校内を盛り上げてくれました。PTAのボランティアの方による、ストーリータイムも実施していただき、子どもたちを楽しませていただきました。12月には、いじめ見逃しゼロスクール集会も行いました。文化会館の収容人数の関係で中学も含めた3校合同というわけにはいきませんでした。昨年と違い高志小学校だけでなく春日小学校と合同実施ができ、子どもたちは自校だけで行う以上の刺激を受け、いじめに対する認識を新たにすることができました。また、校内の消毒を地域の方やPTAのボランティアの方から定期的に協力いただいたのも2学期からでした。今現在、県内では小学校等でクラスターも発生するなど、まだまだ予断を許さない状況にあると認識していますが、少しずつできることが増えてきたと感じています。

これは校内のことではありませんが、残念なことが起きた2学期でもありました。それは、県内で発生したいじめが原因とみられる中学生の自死です。先月の『六花の輝き』でお知らせしましたように、高志小学校も良いことばかりではありません。集団で生活しているのですから、不適切な行動や友達同士のトラブルも発生します。決して他の学校のことだからと見過ごすことはできません。先日の児童集会で子どもたちに話をする機会があったので、いじめられたら「一人で悩まないで周りの人に話すこと」「危険を感じたときはその場から逃げること」「命を大切にすること」を再確認しました。同時に、職員間で「子どもたちが安心していじめを相談できる信頼される大人でなくてはならない」と再確認しました。

最後になりますが、年末を迎え寒い日が続きます。どうか、お体にお気をつけられ、よいお年をお迎えください。

3学期も、よろしく願いいたします。

高志小学校ABCD

A:あたり前のことを

B:ばかにしないで

C:ちゃんとできる人が

D:できる人(すごい人)

校内消毒ボランティア活動に感謝

学校運営協議会（地域学校支援本部）の発案により、9月17日～12月17日の毎週金曜日夕方、大勢の地域や保護者の皆様から学校に足を運んでいただき、校内のアルコール消毒を行っていただきました。

水道の蛇口、階段の手すり、廊下の雨具掛け、電気のスイッチ等、教職員だけでは行き届かない箇所を念入りに消毒して下さったおかげで、安心して教育活動を進めることができました。ありがとうございました。

全13回の活動日の参加者数（延べ数）は、次のとおりです。

・保護者の皆様	54名	・地域の皆様	65名	計	119名
---------	-----	--------	-----	---	------

3学期は、積雪の関係で学校の駐車場確保もままならない状況となります。そこで、校内消毒ボランティア活動は終了とさせていただきます。県内小学校の新型コロナのクラスター感染が報道されているように、まだまだ予断を許さない状況です。学校でも、手洗いや換気等の感染防止対策に引き続き努めていきたいと思えます。

